

史上最大の激戦制す

現職知名度生かす

自民党がルーツの3人 構図を引きずり、市政界を含めて6人が立候補しは真つ二つに割れた。た前橋市長選史上最大の 自民は現職優先が通例 激戦を現職の山本龍氏 だが、山本、岩上両氏と (60)が制した。高木政夫 元衆院議員の佐田玄一郎 元市長に近い岩上憲司氏 氏(67)から推薦依頼を受 (47)と事実上の一騎打 けた前橋支部は意見集約 ち。山本、高木両氏が戦 できず自主投票を決定。 の争点を作れず、現職の った2012年市長選の 保守系の県議、市議は山 知名度に阻まれた。

本、岩上両陣営に分かれて戦った。しこりを懸念した党所属国会議員の動きも鈍った。



支援者の激励に両手を上げて応える山本氏

山本氏の主な公約

- ① 高校生までの医療費無料化
- ② 病児・病後児保育を5カ所体制に
- ③ 公的結婚相談センター開設
- ④ 済生会前橋病院の機能強化
- ⑤ 市内企業就職者の奨学金返済支援
- ⑥ どこに住んでも便利な交通システムを2022年までに構築
- ⑦ ICT産業誘致
- ⑧ 新産業団地造成
- ⑨ ガス発電や蓄電装置を避難所や公民館、病院に設置
- ⑩ 地元建設関連業者の参入機会増加と優先発注

1995年の県議選で初当選した山本氏



山本氏の歩み

草津町出身の山本氏は、中学高校時代を前橋市で過ごした。早稲田大に進学後、故小淵恵三元首相の秘書になり、政治の道を歩み出した。1995年県議選で吾妻郡区から初当選した。

県議を3期務め、2006年7月に辞職。07年7月の知事選に無所属で出馬し19万票余りを獲得

07年知事選で19万票獲得も

したものの、自民党公認の大沢正明氏に敗れて落選した。09年1月の県議補選に前橋市・勢多郡区(当時)から自民公認で立候補し返り咲いた。前橋市長選には、県議から鞍替えし12年に自民推薦で出馬した。現職の高木政夫氏らとの保守分裂選挙を制して初当選した。16年の前回選挙で再選した。